

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

【様式1】

市町村名	佐野市
所属名	介護保険課
担当者名	落合永守

地域の目指す姿(ビジョン、大目標)
健やかで元気に暮らせるまちづくり

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度（年度末実績）				
	大区分	中区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	
佐野市	①自立支援・介護予防・重度化防止	①自立支援・介護予防・重度化防止	要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現	・介護予防のパンフレット等を活用した基本的な知識の普及啓発 ・介護予防に関する講座の開催	・要介護状態になることの予防、要介護状態等の軽減、悪化の防止 ・高齢者が要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指す。 ・介護認定がついていても、専門職等の介入を通して自立した生活へ戻るようにする	・介護予防教室の開催 ・団体等の依頼に基づく、介護予防教室の講師派遣 ・市広報、ホームページ、パンフレット等による普及啓発	○	広報への掲載やチラシ等の配布及び介護予防教室の開催や講師派遣を行った。	パンフレットは、市役所窓口での配布のほか、包括支援センターの窓口にも置くなどして、必要な時に入手できるようにしている。今後も周知を図り、介護予防教室の開催を増やしていく。	
佐野市	①自立支援・介護予防・重度化防止	②生活支援体制整備	・地域での活動に「ぜひ参加したい」と答えた方は6.0%、企画運営に関しては2.1%である。地域のリーダー的な存在が少なくっている。 ・何かあったときに相談する相手は、39.5%が家族や友人以外に相談する相手はいないと答えており、近所付き合いは希薄である。	・生活支援コーディネーターの配置 ・地域の関係者間の情報共有及び連携を図る	○生活支援サービスの充実（介護予防・日常生活支援総合事業） 住民、ボランティア、地縁組織、NPO法人、シルバー人材センター等の地域の社会資源を積極的に活用する連携体制の充実を図る	・第1層生活支援コーディネーターの配置 ・生活支援体制整備協議体会議を1回開催 ・コーディネーターより市へ毎月報告書を提出、進捗状況を確認 ・適宜、生活支援コーディネーター等と打合せを実施	○	生活支援コーディネーターと連携し、サービス活動Bの新規団体の立ち上げができた。	生活支援コーディネーターと地域課題について協議し、各団体の情報共有や連携が実施できるよう支援を継続する。	
佐野市	①自立支援・介護予防・重度化防止	③認知症施策	・介護者の30.7%が認知症状への対応を不安に感じている。 ・認知症高齢者を地域で支えていく必要がある。	・認知症サポーターの養成拡大 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症カフェの充実 ・認知症高齢者の権利擁護の推進	認知症施策と高齢者の尊厳・権利擁護の推進 ・認知症の方が自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、認知症の方を地域で支える取組を関係機関と連携、推進する。	・R6認知症サポーター養成講座受講者数1,161人 ・認知症地域支援推進員を2か所の包括支援センターに配置 ・認知症初期集中支援チームにおいて、R6事例を4件対応 ・認知症カフェを2か所設置	○	事業を通して、認知症の理解の促進や認知症に関する相談対応を実施することができた	認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム及び認知症カフェについては、活動の周知・充実を図っていく。	
佐野市	①自立支援・介護予防・重度化防止	④その他								
佐野市	②介護給付適正化		○介護保険制度の持続可能性確保のため、保険者機能の強化を図り、限られた財源を効果的に活用していくことが求められる。 ○介護給付の適正化による介護サービスの質を確保していくことが必要である。	○要介護認定の適正化 ○ケアプラン等の点検 ○縦覧・医療情報との突合点検	○要介護認定の適正化 ・市職員等による訪問・書面等の審査・点検：各年度全件 ○ケアプラン等の点検 ・ケアマネジャーを対象とした講習会参加事業者数：各年度37事業者 ・ケアプラン点検件数：各年度37件 ・住宅改修訪問調査件数：各年度12件 ・福祉用具購入及び貸与訪問調査件数：各年度12件 ○縦覧・医療情報との突合点検 ・縦覧点検件数：各年度全件 ・医療情報との突合件数：各年度全件	○要介護認定の適正化 ・市職員等による訪問・書面等の審査・点検：全件 ○ケアプラン等の点検 ・ケアマネジャーを対象とした講習会参加事業者数：35事業者 ・ケアプラン点検件数：37件 ・住宅改修訪問調査件数：12件 ・福祉用具購入及び貸与訪問調査件数：12件 ○縦覧・医療情報との突合点検 ・縦覧点検件数：全件 ・医療情報との突合件数：全件	○	「ケアマネジャーを対象とした講習会参加事業者数」が目標より2事業者少なかったものの、その他の指標は目標どおり達成できたため。	令和6年度の取組は概ね計画どおりに実施することができた。 今後の課題は、数値目標の達成に加え、取組を効果的に介護サービスの質の確保へつなげるための、その他の指標は目標どおり達成できたため、取組をより効果的に行えるようにしたい。	